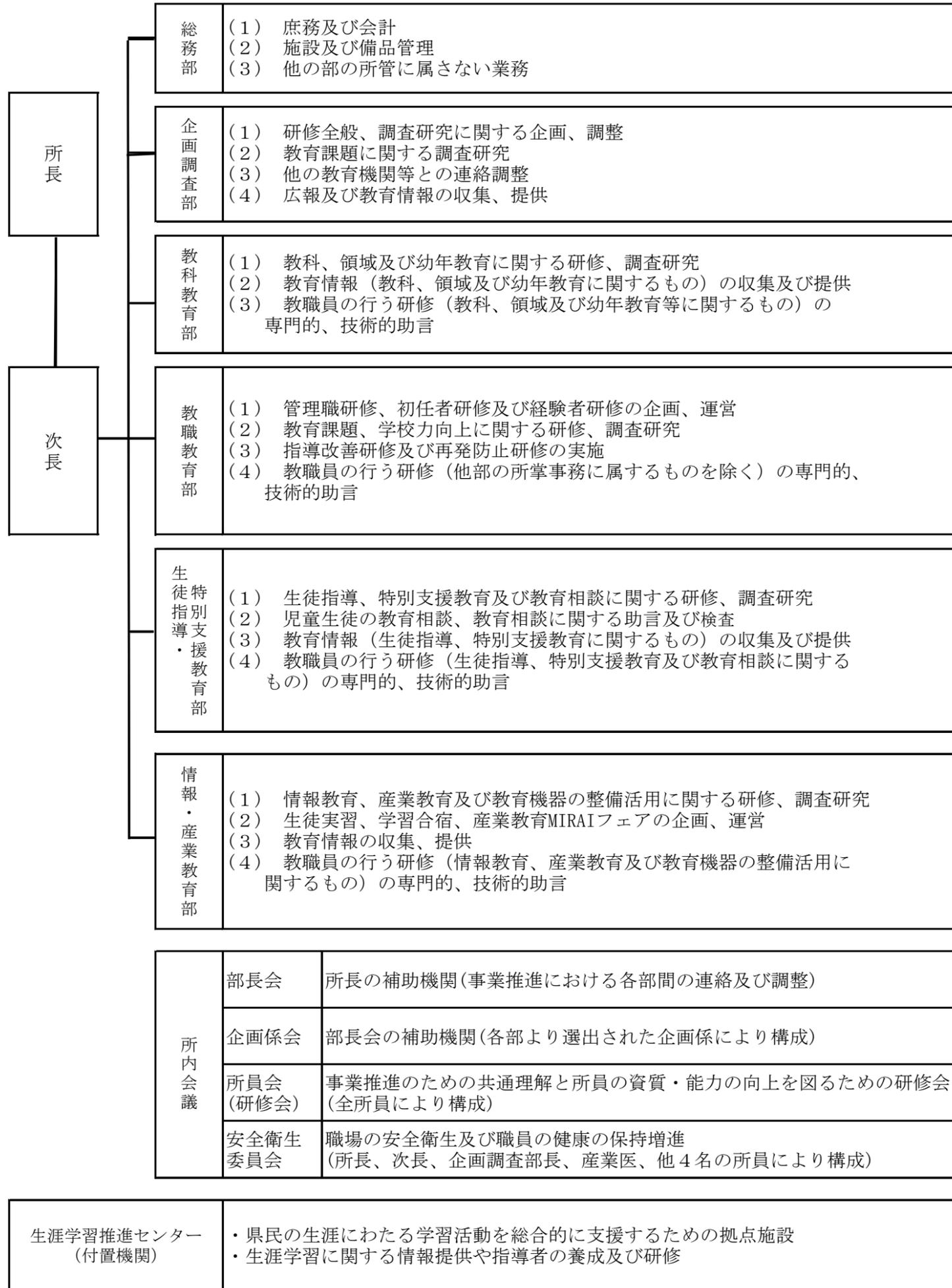


# 1 総合教育センター

(1) 組織  
ア 組織・機構



(2) 事業報告

ア 事業体系

研修事業	教員対象研修	指定研修
	教職員研修会サポート	希望研修 対象講座受講者が講師となる研修会のサポート
生徒実習	生徒実習（センター実習、企業実習）、学習合宿、産業教育MIRAIフェア	
調査研究事業	チーム課題研究	
	県内教員養成系大学(学部・大学院)との連携、県内外教育機関等との連携	
	その他研究調査活動	
教育情報事業	ホームページ、センター通信等による情報提供	
	教育情報資料室、情報展示コーナーによる情報提供	
	長野県教育情報ネットワークの維持・運営、視聴覚ライブラリーの管理・貸出し	
教育相談事業	子どもの健やかな成長と発達を願う教育相談	
	学校運営や授業づくりに応じた教育相談	

イ 実施概況

研修種別			講座数	決定者数	受講者数	
研修事業	長野県公立学校教員研修要綱による研修	義務 初任者研修 ※特別支援学校含む	1年次	1 ( 1 )	342	342 ( 341 )
			2年次	1 ( 1 )	336	336 ( 346 )
		高校 初任者研修 ※総セ主催の指定研修のみ	1年次	19 ( 20 )	105	1,279 ( 1,326 )
			2年次	2 ( 2 )	107	96 ( 84 )
		義務 キャリアアップ® 研修Ⅰ	11 ( 12 )	347	744 ( 698 )	
		高校 キャリアアップ® 研修Ⅰ	5 ( 6 )	83	246 ( 237 )	
		義務 キャリアアップ® 研修Ⅱ	4 ( 6 )	315	622 ( 542 )	
		高校 キャリアアップ® 研修Ⅱ	5 ( 6 )	94	355 ( 324 )	
		キャリアアップ研修Ⅲ	2 ( 2 )	155	154 ( 251 )	
		義務 校長研修	1 ( 1 )	414	412 ( 411 )	
		高校 校長研修	2 ( 2 )	79	153 ( 155 )	
		義務 教頭研修	3 ( 3 )	452	625 ( 587 )	
		高校 教頭研修	4 ( 4 )	102	254 ( 265 )	
		小計	60 ( 66 )	2,931	5,618 ( 5,567 )	

※受講者数は実施日数に基づくのべ人数。( )内は前年度。

※義務キャリアアップ® 研修Ⅱは、「現代的な諸課題への対応」講座を除外し、全体研修と生徒指導充実研修のみカウント。  
(現代的な諸課題への対応は別に記載)

研修種別		講座数	募集定員	申込者数	決定者数	受講者数			
研修事業	長野県公立学校教員研修要綱による研修	希望研修	学校力の向上を目指す研修	9 ( 9 )	450 ( 400 )	288 ( 295 )	288 ( 295 )	281 ( 276 )	
			教科等研修	132 ( 107 )	4,006 ( 2,750 )	2,775 ( 1,866 )	2,772 ( 1,858 )	2,646 ( 1,771 )	
			情報教育研修	10 ( 10 )	380 ( 280 )	280 ( 351 )	216 ( 351 )	207 ( 333 )	
			産業教育研修	14 ( 14 )	220 ( 190 )	117 ( 116 )	117 ( 116 )	109 ( 110 )	
			生徒指導研修	10 ( 10 )	820 ( 980 )	703 ( 648 )	703 ( 648 )	668 ( 605 )	
			特別支援教育研修	21 ( 22 )	1,260 ( 1,476 )	858 ( 788 )	849 ( 788 )	802 ( 749 )	
			生七共催講座	11 ( 4 )		207 ( 156 )	207 ( 156 )	200 ( 156 )	
			産業教育実践研修	3 ( 3 )		62 ( 66 )	62 ( 66 )	62 ( 66 )	
			先端技術研修	10 ( 9 )		71 ( 58 )	71 ( 58 )	71 ( 58 )	
			産業教育教材探究	28 ( 27 )		112 ( 115 )	112 ( 115 )	112 ( 113 )	
			大学連携講座	15 ( 16 )	515 ( 450 )	388 ( 336 )	388 ( 336 )	372 ( 308 )	
			小計	263 ( 231 )	7,651 ( 6,526 )	5,861 ( 4,795 )	5,785 ( 4,787 )	5,530 ( 4,545 )	
			その他の研修	生徒指導 長期研修派遣 教員研修	22 ( 22 )		142 ( 146 )	142 ( 146 )	142 ( 146 )
				産業教育 長期研修派遣 教員研修	1 ( 2 )		1 ( 3 )	1 ( 3 )	1 ( 3 )
指導改善研修					0 ( 0 )	0 ( 0 )			
再発防止研修					4 ( 4 )	26			
小計	23 ( 24 )			143 ( 149 )	147 ( 153 )	169 ( 149 )			
合計		346 ( 321 )	7,651 ( 6,526 )	6,004 ( 4,944 )	8,863 ( 4,940 )	11,317 ( 10,261 )			
生徒実習	生徒実習 (センター実習+企業実習)				1,429 ( 1,101 )	1,429 ( 1,101 )	1325 ( 981 )		
	学習合宿				28 ( 62 )	28 ( 62 )	26 ( 62 )		
	産業教育MIRAIフェア				76 ( 112 )	76 ( 112 )	76 ( 112 )		
	合計				1,533 ( 1,275 )	1,533 ( 1,275 )	1,427 ( 1,155 )		

※募集定員、申込者数、決定者数、受講者数は、実施日数または受講日数に基づくのべ人数。( )内は前年度

※申込者数、決定者数は代替講座申込および代理受講申込み数を含む。

ウ 研修事業

「長野県教員育成指標」に基づいて、教職経験に応じた研修、学校力の向上を目指す研修、不登校、特別支援教育及び情報産業教育における今日的な課題に対応する研修講座等、各講座の改善充実に努めた。

(ア) 指定研修の受講状況

a 初任者研修及び経験年数に応じた研修 (延長者を含む終了者数)

	小学校	中学校	義務教育学校	特別支援学校	高等学校	養護教諭	栄養教諭	合計
義務 初任者研修	1年次 ( 164 )	104 ( 102 )	5 ( )	50 ( 48 )		12 ( 17 )	5 ( 3 )	327 ( 334 )
	2年次 ( 166 )	103 ( 103 )	2 ( )	48 ( 48 )		20 ( 18 )	2 ( 8 )	334 ( 343 )
高校 初任者研修					94 ( 91 )	3 ( 3 )		97 ( 94 )
					96 ( 84 )	3 ( 3 )		99 ( 87 )
義務キャリアアップ研修Ⅰ (5年経験者研修)	164 ( 150 )	109 ( 114 )	3 ( 5 )	44 ( 47 )		11 ( 21 )	4 ( 19 )	332 ( 351 )
高校キャリアアップ研修Ⅰ (5年経験者研修)					82 ( 81 )	0 ( 2 )		82 ( 83 )
義務キャリアアップ研修Ⅱ (中堅教諭等資質向上研修)	121 ( 87 )	88 ( 102 )	5 ( 1 )	46 ( 42 )		16 ( 10 )	23 ( 20 )	294 ( 261 )
高校キャリアアップ研修Ⅱ (中堅教諭等資質向上研修)					92 ( 82 )	2 ( 2 )		94 ( 84 )
義務キャリアアップ研修Ⅲ (20年経験者研修)	60 ( 109 )	34 ( 64 )		33 ( 58 )		6 ( 9 )	0 ( 0 )	133 ( 240 )
高校キャリアアップ研修Ⅲ (20年経験者研修)					19 ( 22 )	2 ( 1 )		21 ( 23 )
合計	662 ( 676 )	438 ( 485 )	15 ( 6 )	221 ( 243 )	383 ( 360 )	75 ( 86 )	34 ( 50 )	1,813 ( 1,900 )

※ ( ) 内は前年度。

b 校長教頭研修実施状況

研修種別	講座数	決定者数	受講者数
小・中学校 義務教育学校 特別支援学校	校長マネジメント研修 ( 1 )	414	412 ( 411 )
	教頭マネジメント研修 ( 1 )	436	424 ( 422 )
	新任教頭研修Ⅰ・Ⅱ ( 2 )	102	201 ( 171 )
高等学校	校長研修 ( 1 )	79	78 ( 77 )
	校長マネジメント研修 ( 1 )	79	75 ( 78 )
	教頭研修 ( 1 )	102	98 ( 98 )
	教頭マネジメント研修 ( 1 )	102	101 ( 100 )
	新任教頭研修Ⅰ・Ⅱ ( 2 )	27	54 ( 67 )
合計	10 ( 10 )	1,341 ( 1,568 )	1,443 ( 1,424 )

※受講者数は実施日数に基づくのべ人数。( ) 内は前年度

c キャリアアップ研修Ⅰ（5年経験者研修）

研修区分	研修講座名	講座数	決定者数	受講者数
小・中学校 義務教育学校 特別支援学校	全体研修 A・B	2 ( 3 )	345 ( 361 )	345 ( 361 )
	I C T活用指導力向上研修Ⅳ	1 ( )	345 ( )	334 ( )
	教師力向上研修Ⅳ（特別支援学校のみ）	8 ( 8 )	48 ( 48 )	47 ( 46 )
合計		11 ( 11 )	738 ( 409 )	726 ( 407 )

研修区分	研修講座名	講座数	決定者数	受講者数
高等学校	生徒指導力向上研修	1 ( 1 )	83 ( 79 )	82 ( 79 )
	教職研修Ⅰ A・B・C	2 ( 3 )	83 ( 79 )	83 ( 79 )
	教職研修Ⅱ A・B	2 ( 2 )	83 ( 79 )	82 ( 79 )
合計		5 ( 6 )	249 ( 237 )	247 ( 237 )

※受講者数は実施日数に基づくのべ人数。（ ）内は前年度。

d キャリアアップ研修Ⅱ（10年経験者研修）

研修区分	研修講座名	講座数	決定者数	受講者数	
小・中学校 義務教育学校 特別支援学校	全体研修 A・B・C	2 ( 3 )	308 ( 263 )	300 ( 263 )	
	生徒指導力充実研修 小・中	2 ( 3 )	308 ( 263 )	261 ( 261 )	
	現代的な 諸課題へ の対応○	探究の学び	3 ( 3 )	39 ( 27 )	39 ( 27 )
		人権教育	2 ( 2 )	10 ( 11 )	10 ( 10 )
		健康教育	1 ( 1 )	15 ( 22 )	15 ( 21 )
		キャリア教育	1 ( 1 )	11 ( 6 )	11 ( 6 )
		マネジメント研修	4 ( 4 )	40 ( 26 )	39 ( 26 )
		ICT活用	3 ( 4 )	60 ( 74 )	60 ( 70 )
		インクルーシブな教育	5 ( 5 )	88 ( 57 )	86 ( 56 )
		合計	23 ( 26 )	879 ( 749 )	560 ( 740 )

研修区分	研修講座名	講座数	決定者数	受講者数
高等学校	教職研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	4 ( 5 )	92 ( 82 )	267 ( 240 )
	生徒指導力充実研修 高校	1 ( 1 )	90 ( 80 )	90 ( 80 )
合計		5 ( 6 )	182 ( 162 )	357 ( 320 )

※受講者数は実施日数に基づくのべ人数。（ ）内は前年度

## (イ) 希望研修

## a 学校力の向上を目指す研修 (※他の研修区分と重複しない講座のみ)

	講座数	募集定員(A)	申込者数(B)	決定者数	受講者数	充足率(B/A)
カリキュラム・マネジメント	1 ( 1 )	50 ( 50 )	21 ( 17 )	21 ( 17 )	21 ( 13 )	42.0% ( 34.0% )
学校組織マネジメント	3 ( 3 )	190 ( 150 )	149 ( 157 )	149 ( 157 )	145 ( 147 )	78.4% ( 104.7% )
健康教育	1 ( 1 )	50 ( 40 )	16 ( 32 )	16 ( 32 )	16 ( 31 )	32.0% ( 80.0% )
人権教育	2 ( 2 )	70 ( 60 )	42 ( 47 )	42 ( 47 )	40 ( 43 )	60.0% ( 78.3% )
キャリア教育	1 ( 1 )	50 ( 60 )	41 ( 27 )	41 ( 27 )	40 ( 27 )	82.0% ( 45.0% )
講師のための研修講座	1 ( 1 )	40 ( 40 )	19 ( 15 )	19 ( 15 )	19 ( 15 )	47.5% ( 37.5% )
合計 (充足率は平均)	9 ( 9 )	450 ( 400 )	288 ( 295 )	288 ( 295 )	281 ( 276 )	64.0% ( 73.8% )

※募集定員、申込者数、決定者数、受講者数は、実施日数または受講日数に基づくのべ人数。( )内は前年度。

※申込者数、決定者数は代替講座申込数を含む。

※カリキュラム・マネジメント、学校組織マネジメント、人権教育、キャリア教育、健康教育はキャリアアップ研修Ⅱの現代的な諸課題への対応(必修課題研修)対象講座であり、必修課題研修としての受講者はキャリアアップ研修Ⅱに参入している。

## b 教科等研修

	講座数	募集定員(A)	申込者数(B)	決定者数	受講者数	充足率(B/A)
国語	9 ( 8 )	230 ( 265 )	223 ( 209 )	223 ( 209 )	213 ( 199 )	97.0% ( 78.9% )
社会、地歴・公民	7 ( 7 )	125 ( 230 )	152 ( 141 )	149 ( 141 )	142 ( 136 )	121.6% ( 61.3% )
算数、数学	11 ( 11 )	430 ( 332 )	221 ( 194 )	221 ( 194 )	211 ( 186 )	51.4% ( 58.4% )
理科	20 ( 22 )	371 ( 412 )	242 ( 279 )	242 ( 279 )	234 ( 259 )	65.2% ( 67.7% )
英語、外国語活動	11 ( 12 )	358 ( 224 )	186 ( 205 )	186 ( 205 )	181 ( 195 )	52.0% ( 91.5% )
生活	2 ( 2 )	36 ( 36 )	39 ( 46 )	39 ( 46 )	38 ( 43 )	108.3% ( 127.8% )
音楽	8 ( 8 )	230 ( 228 )	197 ( 172 )	197 ( 172 )	188 ( 164 )	85.7% ( 75.4% )
図画工作、美術	9 ( 9 )	196 ( 213 )	161 ( 116 )	161 ( 116 )	156 ( 108 )	82.1% ( 54.5% )
家庭	6 ( 6 )	140 ( 130 )	92 ( 99 )	92 ( 91 )	87 ( 88 )	65.7% ( 76.2% )
技術	5 ( 5 )	140 ( 110 )	62 ( 67 )	62 ( 67 )	61 ( 64 )	44.3% ( 60.9% )
道徳	3 ( 3 )	120 ( 120 )	92 ( 77 )	92 ( 77 )	87 ( 75 )	76.7% ( 64.2% )
特別活動、学級経営	3 ( 3 )	110 ( 100 )	37 ( 55 )	37 ( 55 )	35 ( 53 )	33.6% ( 55.0% )
図書館教育	1 ( 1 )	40 ( 30 )	40 ( 27 )	40 ( 27 )	38 ( 27 )	100.0% ( 90.0% )
総合的な学習・探究の時間	3 ( 3 )	70 ( 140 )	102 ( 97 )	102 ( 97 )	99 ( 95 )	145.7% ( 69.3% )
学校体育	30 ( )	1,130 ( )	927 ( )	927 ( )	865 ( )	82.0% ( )
プログラミング教育	3 ( 6 )	70 ( 140 )	36 ( 75 )	36 ( 75 )	35 ( 72 )	51.4% ( 53.6% )
幼児教育	1 ( 1 )	30 ( 40 )	14 ( 7 )	14 ( 7 )	14 ( 7 )	46.7% ( 17.5% )
オンライン	8 ( 20 )		68 ( 210 )	68 ( 210 )	64 ( 189 )	
合計 (充足率は平均)	140 ( 127 )	3,826 ( 2,750 )	2,891 ( 2,076 )	2,888 ( 2,068 )	2,748 ( 1,960 )	75.6% ( 75.5% )

※募集定員、申込者数、決定者数、受講者数は、実施日数または受講日数に基づくのべ人数。( )内は前年度

※申込者数、決定者数は代替講座申込数を含む。

※書道はb教科等研修(国語)としてカウント

c 情報教育研修

	講座数	募集定員(A)	申込者数(B)	決定者数	受講者数	充足率(B/A)
情報セキュリティ・モラル	2 ( 2 )	80 ( 40 )	40 ( 42 )	40 ( 42 )	38 ( 42 )	50.0% ( 105.0% )
I C Tの活用	6 ( 7 )	220 ( 220 )	209 ( 294 )	145 ( 294 )	142 ( 278 )	95.0% ( 133.6% )
教育D X	2 ( 1 )	80 ( 20 )	31 ( 15 )	31 ( 15 )	27 ( 13 )	38.8% ( 75.0% )
合計 (充足率は平均)	10 ( 10 )	380 ( 280 )	280 ( 351 )	216 ( 351 )	207 ( 333 )	73.7% ( 125.4% )

※募集定員、申込者数、決定者数、受講者数は、実施日数または受講日数に基づくのべ人数。( )内は前年度

※申込者数、決定者数は代替講座申込数を含む。

d 産業教育研修

	講座数	募集定員(A)	申込者数(B)	決定者数	受講者数	充足率(B/A)
共通分野	3 ( 3 )	90 ( 60 )	32 ( 32 )	32 ( 32 )	29 ( 30 )	35.6% ( 53.3% )
農業分野	3 ( 3 )	44 ( 44 )	36 ( 28 )	36 ( 28 )	35 ( 26 )	81.8% ( 63.6% )
工業分野	3 ( 3 )	30 ( 30 )	23 ( 24 )	23 ( 24 )	21 ( 23 )	76.7% ( 80.0% )
商業分野	3 ( 3 )	36 ( 36 )	22 ( 29 )	22 ( 29 )	20 ( 28 )	61.1% ( 80.6% )
福祉分野	2 ( 2 )	20 ( 20 )	4 ( 3 )	4 ( 3 )	4 ( 3 )	20.0% ( 15.0% )
合計 (充足率は平均)	14 ( 14 )	220 ( 190 )	117 ( 116 )	117 ( 116 )	109 ( 110 )	53.2% ( 61.1% )

※募集定員、申込者数、決定者数、受講者数は、実施日数または受講日数に基づくのべ人数。( )内は前年度

※申込者数、決定者数は代替講座申込数を含む。

e 生徒指導研修

	講座数	募集定員(A)	申込者数(B)	決定者数	受講者数	充足率(B/A)
発達支持的生徒指導	4 ( 4 )	340 ( 360 )	299 ( 241 )	299 ( 241 )	287 ( 228 )	87.9% ( 66.9% )
課題予防的生徒指導	6 ( 6 )	480 ( 620 )	404 ( 407 )	404 ( 407 )	381 ( 377 )	84.2% ( 65.6% )
合計 (充足率は平均)	10 ( 10 )	820 ( 980 )	703 ( 648 )	703 ( 648 )	668 ( 605 )	85.7% ( 66.1% )

※募集定員、申込者数、決定者数、受講者数は、実施日数または受講日数に基づくのべ人数。( )内は前年度

※申込者数、決定者数は代替講座申込数を含む。

f 特別支援教育研修

	講座数	募集定員(A)	申込者数(B)	決定者数	受講者数	充足率(B/A)
特別支援教育の基礎・基本	5 ( 5 )	200 ( 220 )	102 ( 111 )	102 ( 111 )	97 ( 103 )	51.0% ( 50.5% )
特性の理解と支援	6 ( 6 )	460 ( 540 )	295 ( 307 )	295 ( 307 )	282 ( 293 )	64.1% ( 56.9% )
特別支援教育の授業づくり	6 ( 6 )	340 ( 436 )	235 ( 241 )	235 ( 241 )	218 ( 229 )	69.1% ( 55.3% )
専門性の向上	4 ( 5 )	260 ( 280 )	226 ( 129 )	217 ( 129 )	205 ( 124 )	86.9% ( 46.1% )
合計 (充足率は平均)	21 ( 22 )	1,260 ( 1,476 )	858 ( 788 )	849 ( 788 )	802 ( 749 )	68.1% ( 53.4% )

※募集定員、申込者数、決定者数、受講者数は、実施日数または受講日数に基づくのべ人数。( )内は前年度

※申込者数、決定者数は代替講座申込数を含む。

g 共催講座

	講座数	申込者数	決定者数	受講者数
生涯学習推進センター連携	11 ( 4 )	207 ( 156 )	207 ( 156 )	200 ( 156 )

※募集定員、申込者数、決定者数、受講者数は、実施日数または受講日数に基づくのべ人数。( )内は前年度

h 産業教育実践研修、先端技術研修、産業教育教材探究

	講座数	申込者数	決定者数	受講者数
産業教育実践研修	3 ( 3 )	62 ( 66 )	62 ( 66 )	62 ( 66 )
先端技術研修	10 ( 9 )	71 ( 58 )	71 ( 58 )	71 ( 58 )
産業教育教材探究	28 ( 27 )	112 ( 115 )	112 ( 115 )	112 ( 113 )
合計	41 ( 39 )	245 ( 239 )	245 ( 239 )	245 ( 237 )

※募集定員、申込者数、決定者数、受講者数は、実施日数または受講日数に基づくのべ人数。( )内は前年度

i 大学連携講座

	講座数	募集定員(A)	申込者数(B)	決定者数	受講者数	充足率(B/A)
信州大学教職支援センター	2 ( 2 )	40 ( 40 )	18 ( 21 )	18 ( 21 )	16 ( 20 )	45.0% ( 52.5% )
信州大学教職支援センター 夏季集中講義	4 ( 5 )	80 ( 100 )	30 ( 16 )	30 ( 16 )	30 ( 16 )	37.5% ( 16.0% )
信州大学教職大学院 (大学院教育学研究科高度教職実践専攻)	3 ( 3 )	155 ( 90 )	76 ( 97 )	76 ( 97 )	70 ( 87 )	49.0% ( 107.8% )
上越教育大学教職大学院	5 ( 5 )	200 ( 200 )	222 ( 163 )	222 ( 163 )	217 ( 148 )	111.0% ( 81.5% )
松本大学	( )	( )	( )	( )	( )	( )
長野大学	1 ( 1 )	40 ( 20 )	42 ( 39 )	42 ( 39 )	39 ( 37 )	105.0% ( 195.0% )
合計 (充足率は平均)	15 ( 16 )	515 ( 450 )	388 ( 336 )	388 ( 336 )	372 ( 308 )	75.3% ( 74.7% )

※募集定員、申込者数、決定者数、受講者数は、実施日数または受講日数に基づくのべ人数。( )内は前年度

※申込者数、決定者数は代替講座申込数を含む。

j 教職員研修会サポート

	小学校	中学校	特別支援学校	高等学校	その他	合計
教職員研修会サポート	0 ( 5 )	0 ( 1 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 6 )

(ウ) 生徒対象実習等

a 生徒実習 (高校生対象)

	申込学級数	申込者数	参加者数	
農業科	8 ( 11 )	170 ( 182 )	141 ( 172 )	
工業科	12 ( 14 )	261 ( 306 )	238 ( 259 )	
商業科	20 ( 11 )	690 ( 374 )	644 ( 340 )	
家庭・福祉科	1 ( 1 )	19 ( 17 )	14 ( 0 )	
普通科、理数科等	7 ( 9 )	227 ( 222 )	226 ( 210 )	学校数
合計	48 ( 46 )	1,367 ( 1,107 )	1,263 ( 981 )	21 ( 23 )

※申込学級数、学校数はのべ数。( )内は前年度

b 企業実習

	申込学級数	申込者数	参加者数	実施学校数
工業科	2 ( 2 )	62 ( 60 )	62 ( 55 )	1 ( 1 )
合計	2 ( 2 )	62 ( 60 )	62 ( 55 )	1 ( 1 )

※申込学級数、学校数はのべ数。( )内は前年度

c 学習合宿

	申込団体数	申込者数	参加者数
高等学校	2 ( 2 )	28 ( 62 )	26 ( 62 )

※申込学級数、学校数はのべ数。( )内は前年度

d 産業教育MIRAIフェア

参加校数	16 ( 13 )
参加団体	22 ( 21 )
参加人数	76 ( 112 )
ポスターセッション発表団体	11 ( 14 )
ワークショップ参加団体	3 ( 2 )
展示、実演、販売実習団体	7 ( 5 )

※( )内は前年度

## エ 調査研究事業

学校における教育活動や当センター研修講座の充実・質の向上や教育の諸問題の解決を支援するため、本県教育の今日的な課題や、当センターの事業に関する喫緊な課題に対応した調査研究を行った。

### (ア) チーム課題研究テーマと研究の概要

<b>①教科における探究的な学びの充実に向けた学校の取り組み</b>
<p>〔概要〕</p> <p>第4次長野県教育振興基本計画では、令和6年度教育課程・学習指導改善の目標の重点1に、「探究する授業」を掲げている。一方、県内の学校では、「探究する授業」という言葉から、教員が、子供の具体的な姿を想像することや、そのイメージを同僚と共有することに難しさがあると考えている。</p> <p>今年度は、飯田市立飯田西中学校への授業視察及び教員への聞き取りから、以下について調査し、得た情報を所内で共有・対話することで、総合教育センターの研修事業に生かす一助を得ることを目的とする。</p> <p>(a) 教科学習における「探究的な学習」の実態</p> <p>(b) 生徒の探究的な学習を支える学校の取組と、教員の意識</p>
<b>②「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を実現する研修講座のあり方について</b>
<p>〔概要〕</p> <p>第4次教育振興基本計画の政策の一つとして「デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」と示されており、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」を実現しようとする学校も増えているように感じる。</p> <p>しかし、学校現場からは、「個別には学んでいてもその子にとって最適な学びになっているのだろうか」「個別に学んだ成果を協働的な学びに生かすことができているのだろうか」といった心配の声も聞かれる。</p> <p>そこで、本年度は、最適な学びや協働につながる学びに着目し、専門主事が自らの研修講座からそのあり方について考え合ったり、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の実現に向けて取り組む学校を調査したりすることを通して、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」の具体についての理解を深めていく。</p>
<b>③「新たな教師の学び」実現に向けた（校内）研修の充実</b>
<p>〔概要〕</p> <p>「教師の学び」と「子供の学び」は相似形であることから、研修で新たな知識や技能を得ることだけでなく、一人ひとりが主体的に研修に向かい、学校に戻っての実践や校内研修を充実させるための研修のあり方について研究していく。</p> <p>そのために、研修担当者が「参加者を主語にした「研修デザインの三角形」の『研修目標』『研修内容』『研修過程・方法』の3つを整理して考え、研修講座を運営できるようにしていく。また、所員同士がそれぞれの研修講座を、どんな思いで運営していくかを共有することで、その思いの実現に向けた方法についてもアドバイスし合う。研修講座の運営を考え合うことが「所員の学び」であり、「教師の学び」、「子供の学び」と相似形にもなるようにしていく。</p>
<b>④一人の子供も取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境をつくるために ～困っている子が困らなくなるために教室や学校でできること～</b>
<p>〔概要〕</p> <p>これまでの調査研究をふまえ、今年度は「困っている子が困らなくなるために教室や学校でできること」を特別支援教育研修講座で新たに立ち上げたUDL (Universal Design for Learning: 学びのユニバーサルデザイン) に基づいた学習支援の視点から可能性を探る。合わせて、第4次長野県教育振興基本計画で取り組んでいる「一人ひとりの特性に応じた学びの追求」の実証研究の情報も踏まえ、テーマの具現化に向け、当県で実践可能な方策を整理し、今後の研修講座に反映させていく。</p>

## ⑤オンライン同時双方向型合同授業の充実

### 〔概要〕

本年度から制度改正により多様なメディアを活用した遠隔教育制度が推進されるとともに、第4次長野県教育振興基本計画における政策の柱の一つとして「一人の子どもも取り残されない『多様性を包み込む』学びの環境を作る」を掲げている。

文科事業「WVL コンソーシアム構築支援事業」において協働的な学びを実現するための同時双方向型の合同授業に向けて実践的な研究を行う。

また、個別最適な学びの実現に向けて、オンライン授業の実践研究を行い、特に実技を伴う授業の遠隔教育について研究を行う。

これにより、協働的な学びとなる遠隔教育と個別最適な学びとなる遠隔教育の実践を通して、今後の実践につなげていく。

### (イ) 教職員の研修・養成に関する講座実施と研究調査

#### a 教職員研修に関する連携

信州大学（教職支援センター・教職大学院）、長野大学、上越教育大学教職大学院との連携講座を実施した。

※講座実施数に関しては、3 研修事業（2）希望研修 i 大学連携講座を参照。

#### b 教職員養成に関する連携

##### (a) 信州大学理学部での理科指導法 I における専門主事による講義実施

4月17日（水）から7月3日（水）までの全11回、信州大学松本キャンパスにおいて理科担当の専門主事4名による講義を実施した。信州大学理学部38名が受講した。

##### (b) 信州大学人文学部での教科指導法特論 I、および教科指導法特論 II（国語、英語、社会）における専門主事による講義実施

教科指導法特論 I では、5月27日（月）、28日（火）、9月9日（月）に信州大学松本キャンパスにおいて専門主事4名（国語担当1名、英語担当2名、社会担当1名）による計8時間限分の講義を実施した。信州大学人文学部24名（国語7名、英語7名、社会10名）が受講した。

教科指導法特論 II では、2月17日（月）、27日（木）に信州大学松本キャンパスにおいて専門主事4名（国語担当1名、英語担当2名、社会担当1名）による各日4時間限分の講義を実施した。信州大学人文学部26名（国語7名、英語6名、社会13名）が受講した。

##### (c) CST事業に対する専門主事の派遣

信州大学教職支援センターでの事業運営に関わり、理科担当の専門主事2名を派遣した。

オ 教育情報事業

(ア) センターホームページからの教育情報の提供

a 教育情報データベース

アクセス数 1,045件 (912件)

b 教育情報・資料のデータベース作成

(a) 小・中・高等学校、特別支援学校の学習指導案や実践事例等のデータベース化

教育実践資料データベース 総登録件数1,504件 ※内、令和6年度分0件

(b) 教育研究・教育論文の資料名や主題名の情報等のデータベース化

図書資料データベース 総登録件数60,196件 ※内、令和6年分164件

分類	県外	県内	合計
教育一般	67	10	77
教育原理・思想	0	0	0
各国教育・教育史	1	0	1
教育行財政	1	0	1
学校経営・管理	2	0	2
教育内容・方法	10	4	14
教科・領域	11	43	54
幼児・初等・中等教育	0	0	0
特別支援教育	3	3	6
教育調査・統計	2	0	2
教育と社会	4	3	7
社会教育	0	0	0
合計	101	63	164

(c) 学びの広場へのアクセス数

	クリア・チャレンジ問題	P調査・C調査問題	休みの課題帳	レビュー問題	ファイナルチェック問題	オリジナル問題	合計
4月	981	87	191	387	164	72	1,882
5月	766	42	116	411	79	67	1,481
6月	650	43	91	398	50	56	1,288
7月	564	43	237	303	69	80	1,296
8月	398	42	260	231	37	41	1,009
9月	711	42	88	474	57	55	1,427
10月	668	43	98	628	51	62	1,550
11月	838	50	105	623	69	84	1,769
12月	773	49	292	495	89	81	1,779
1月	672	55	246	623	108	69	1,773
2月	805	59	136	637	169	77	1,883
3月	498	34	264	290	129	58	1,273
合計	8,324 (10,190)	589 (781)	2,124 (2,271)	5,500 (7,140)	1,071 (1,287)	802 (839)	18,410 (22,508)

( ) 内は昨年度

(d) 情報モラル 実践資料へのアクセス数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
194 (68)	87 (65)	71 (58)	197 (116)	71 (47)	52 (46)	50 (53)	176 (46)	34 (57)	54 (55)	544 (69)	21 (48)	1,451 (728)

c センターホームページの利用

全訪問数 146,019 件 (129,622 件)

d センターに関わる情報の提供

センター紹介、教育相談、研修講座案内、施設貸し出し案内等

(イ) 教育情報資料室及び教育情報展示コーナーからの教育情報の提供

a 教育関係資料の閲覧、視聴覚ライブラリービデオ教材の視聴

b 教育情報資料室利用状況

利用者数 のべ640人 (694人)

c 教育情報の収集状況

(a) 購入図書等 教育関係図書 28冊(うち、寄贈 17)、教育関係月刊誌等 32種類  
日刊新聞等 10紙

(b) 県内の資料

高等学校	学校要覧 2校、通信・便り等 6件
小中学校・特別支援学校	(なし)
大学・短大	所報・会報・機関紙・通信・各種案内等 3件
県市町村関係	広報等 16件
その他の教育団体	所報・会報・機関紙・通信・各種案内等 54件
その他(教育団体以外)	所報・会報・機関紙・通信・各種案内等 60件

(c) 県外の資料

全国教育センター・研究所等	所報・会報・機関紙・通信・各種案内等 3件
大学等	所報・会報・機関紙・通信・各種案内等 27件
その他教育機関	所報・会報・機関紙・通信・各種案内等 94件
その他	所報・会報・機関紙・通信・各種案内等 154件

(ウ) 教育情報ネットワークの運用

a 利用機関

県立学校(高等学校、特別支援学校)及びその他県立教育関係機関 0件

b メールアカウント新規登録件数 0件 (0件)

(エ) 視聴覚ライブラリーの教材貸出し

a 教材の貸し出し数 のべ 109本 (170本)

内訳 小学校 1本 中学校 45本 特別支援学校 0本 高等学校 63本 その他 0本  
(小学校 6本 中学校 47本 特別支援学校 4本 高等学校 157本 その他 0本)

カ 教育相談事業

職員を対象として、研究や学校教育上の諸問題解決のための専門的・技術的な助言を行った。また、児童生徒、保護者および教職員を対象として、様々な障がいや不登校など成長に伴う諸問題について相談・助言を行った。面接相談では、親子並行面接を中心に継続相談を行った。

(ア) 児童生徒、保護者等を対象とした相談

a 面接相談の集計(のべ件数)

内容	小	中	高	他	計
学校関係	0	5	4	0	9
問題行動	0	0	0	0	0
うちいじめ	0	0	0	0	0
心身	3	4	4	0	11
家庭関係	0	0	2	0	2
不登校	0	8	0	0	8
その他	0	1	0	0	1
合計	3 (70)	18 (7)	10 (9)	0 (0)	31 (90)

※ ( ) 内は前年度

b 面接相談の集計(のべ人数)

内容	相談者 対象者	保護者				本人				教職員				その他				計
		小	中	高	他	小	中	高	他	小	中	高	他	小	中	高	他	
学校関係	0	7	13	0	0	7	15	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	43
問題行動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うちいじめ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心身	9	7	9	0	8	2	9	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	45
家庭関係	0	0	8	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16
不登校	0	17	0	0	0	14	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	32
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	9 (22)	31 (11)	30 (22)	0 (0)	8 (18)	23 (6)	32 (14)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	137 (97)

月別(のべ人数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	4	13	16	14	7	12	10	10	16	13	9	13	137
(前年度)	(4)	(5)	(7)	(6)	(8)	(13)	(9)	(7)	(10)	(7)	(12)	(9)	(97)

c 電話相談の集計(のべ件数)

内容	相談者 対象者	保護者				本人				教職員				その他				計
		小	中	高	他	小	中	高	他	小	中	高	他	小	中	高	他	
学校関係	7	9	17	3	0	1	4	0	2	2	0	0	1	2	0	1	49	
問題行動	3	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
うちいじめ	2	2	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
心身	1	5	2	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	12	
家庭関係	1	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
不登校	2	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	
その他	1	0	4	4	1	0	7	5	2	0	1	9	1	0	0	7	42	
合計	15 (14)	27 (11)	34 (32)	7 (1)	1 (0)	1 (1)	15 (1)	5 (1)	6 (5)	2 (1)	1 (2)	9 (5)	2 (1)	2 (3)	0 (1)	9 (10)	136 (89)	

月別(のべ件数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	6	9	16	15	14	17	10	10	9	6	13	11	136
(前年度)	(11)	(10)	(10)	(8)	(2)	(4)	(7)	(7)	(7)	(3)	(8)	(12)	(89)

d メール相談の集計(のべ件数)

校種	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合計
件数	0	0	0	0	0	0
(前年度)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

(イ) 教職員の研究等に対する相談・助言

a 来所回数・人数

	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他		合計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
企画調査部	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
教科教育部	39	44	30	36	23	24	2	5	3	4	97	113
教職教育部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生徒指導・特別支援教育部	1	2	3	4	0	0	0	0	0	0	4	6
情報・産業教育部	8	8	9	8	16	15	4	4	18	1	55	36
小計	50 (34)	56 (36)	42 (30)	48 (30)	39 (23)	39 (19)	6 (7)	9 (9)	21 (27)	5 (12)	158 (121)	157 (106)

※ ( ) 内は前年度

b 通信件数

	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	その他	合計
	件数	件数	件数	件数	件数	
企画調査部	0	0	1	0	0	1
教科教育部	36	38	38	2	14	128
教職教育部	0	0	0	0	0	0
生徒指導・特別支援教育部	5	4	2	2	13	26
情報・産業教育部	2	9	241	0	49	301
小計	43 (43)	51 (25)	282 (161)	4 (7)	76 (24)	456 (260)

※ ( ) 内は前年度

キ 施設の利用状況

(ア) センター以外が主催する研修等による利用

区 分	利用日数(日)	利用者数(人)
教育委員会 (生涯学習推進センター含む)	149 (155)	12,252 (11,156)
知事部局	27 (26)	2,648 (3,343)
県警本部	2 (2)	180 (215)
一 般	236 (227)	5,708 (5,908)
計	414 (410)	20,788 (20,622)

※利用可能日数 243日 (242)

※ ( ) 内は前年度

(イ) 知新寮の利用

区 分	宿泊可能日数(日)	宿泊日数(日)	宿泊者数(人)
宿泊室	190 (190)	0(0)	0(0)

※ ( ) 内は前年度

(ウ) 施設開放

項 目	開催日	参加者数(人)	内 容
チャレンジしなのめ塾	実施せず	- -	総セ、生セ、体セ共催の 施設開放事業

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2、3、4年度は中止

※令和5年度からチャレンジしなのめ塾の開催を見直し、センターにおける各種事業の紹介や発信を、施設開放という形ではなく、別の方法に委ねていけるよう検討。

(エ) 視察

視察者に対して、研修講座の見学に加え、施設の案内や事業の概要説明を行った。

申請元	件数	人数	申請元	件数	人数
学校等(幼小中高)	7	7	教育事務所	22	22
市町村教委	2	2	県外機関	4	9
県庁	5	5	その他	1	1

(合計) 41件 46名

ク 主な施設修繕

- ・地下ピット排水ポンプ修繕等

ケ 所外支援及び学校訪問支援

		小学校	中学校	高等学校	その他	合計
その他の支援		30 (15)	3 (25)	136 (128)	245 (293)	414 (461)
学校訪問 支援	3教科					158 (158)
	他課依頼					19 (0)
					合計	591 (619)

※ ( ) 内は前年度

※学校訪問支援は合計のみ記載